

エゾシカカフェ店主敬白

VOL.47 2011/6/3

こんにちは、エゾシカカフェ店主の石崎です。

エゾシカカフェは、そのまま名前の通り、エゾシカ料理をご提供するカフェですが、本当のコンセプトは、「エゾシカ好きのオーラをあてて、エゾシカ大好きにさせる」ことにあります。

店主敬白も、皆さんにエゾシカのことをもっと知ってもらい、しかも大好きになってもらうためのものです。肩肘張らず、軽い気持ちで読んでみるしかない？

アーバン木こりとアーバンディアー

アーバン木こりってというのは、丸の内朝大学のコースの名前です。アーバン（都会）と木こり（田舎）を無理やり組み合わせた感じですが、意外なほど人気みたいです。（先日、一日だけ講師を勤めさせていただきました。）さて、同じような言葉にアーバンディアーがあります。これも、無理やり組み合わせた感じなんですが、実は結構な問題になっているんです。

エゾシカがあまりに増えすぎて、森の中から都会に出てきちゃうんですね。札幌市北区、札幌駅のすぐ北にある北大のキャンパスにもエゾシカが出てきたことがあります。



アーバンディアー討伐隊

都会で、エゾシカが見れるなんて！！なんて自然にあふれた北海道なんだ！！と、気楽に聞いてはいけません。都会に迷い込んだエゾシカは興奮して実はかなり危険です。100kg近い体重と、鋭い角があるエゾシカがすぐそばを暴れまわっているなんて、ちょっとした悪夢です。で、討伐隊がすぐに来るわけですが、都会の中では猟銃が使えません（流れ弾や、跳弾の危険性が高い）。そこでサスマタや、麻酔吹き矢（射程距離：10m）や、木でできた盾を使って追い詰めるのですが、その苦労や危険さと言ったらとんでもありません。僕の友人も、討伐隊に入っていて、先日シカに蹴られたそうで、ひどい打ち身になっていました（打ち所が悪いと骨折や重傷につながります）。



討伐隊というのは、対処療法です。根本的には生息数のコントロールを人間でやらないと、これからどんどんシカに札幌を制覇されてしまうかもしれません。

※なお、シカチャフ義捐金：前回までで 45,000 円越えました！（14T 含む）ありがとうございます。

どこに、義捐金を渡すか考え中ですが、県か市町村に直接渡すか、フロボランティアに渡したいと思っています。また、新しい復興支援プロジェクトも準備中です。（エゾシカはあんまり関係ないのですが。。）また、お知らせいたしますので、どうぞ応援よろしくお願ひいたします。